

2

ゆりえさんたちは、交流会に来てくれた地域^{ちいき}の方20人に、お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒^{ふうとう}に入れて送ろうとしています。

1通送るのにかかる料金は、封筒の大きさと重さによって、次のように決まっています。

1 通送るのにかかる料金

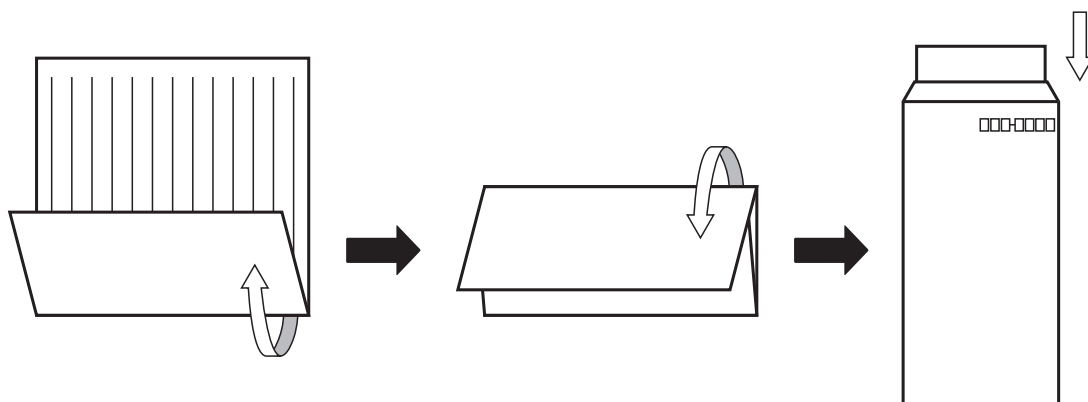
封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25g 以内	82 円
	50g 以内	92 円
大きい封筒	50g 以内	120 円
	100g 以内	140 円
	150g 以内	205 円

手紙と記念品を小さい封筒に入れると、1通の重さは27gになりました。
また、大きい封筒に入れると、1通の重さは36gになりました。ゆりえさんたちは、料金をできるだけ安くするために、小さい封筒に入れて送ることにしました。

- (1) 手紙と記念品を封筒に入れて、20通送るときの料金について考えます。
小さい封筒に入れて送る場合は、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、何円安くなりますか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

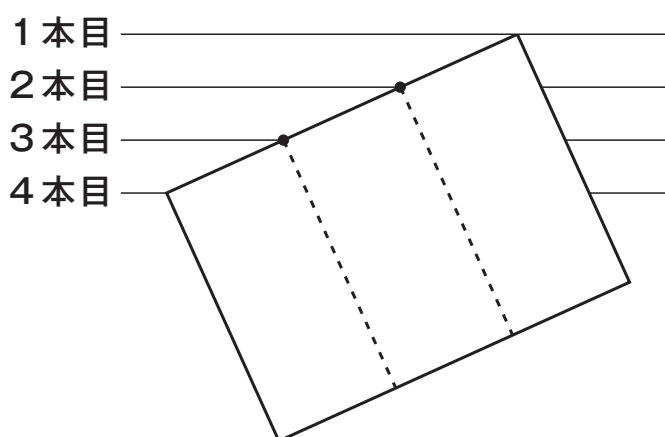
小さい^{ふうとう}封筒に入れるためには、長方形の形をした手紙を3つに折る必要があります。



ゆりえさんは、手紙をなるべくきれいに3つに折るために、先生から3等分する点を見つける方法を教えてもらいました。

3等分する点を見つける方法

- ① 同じはばに^{なら}並んだ4本の平行な直線の、1本目の直線と4本目の直線に手紙の長い辺の両はしをあわせる。
- ② 2本目、3本目の直線と手紙の長い辺が交わった点が、手紙の長い辺を3等分する点になる。

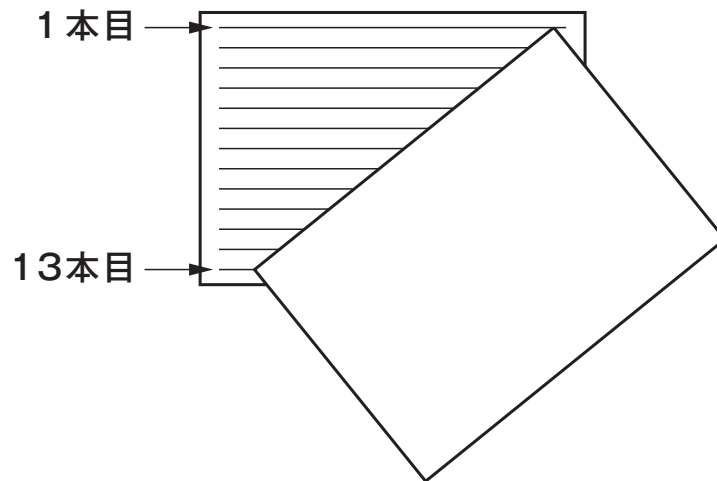


ゆりえ

同じはばに並んだ直線を4本使うと、直線と直線の間が3つになるので、3等分する点を見つけることができるのですね。

手紙の用紙には、同じはばに並んだ13本の平行な直線がひかれています。

ゆりえさんは、手紙を3つに折るために、もう1枚の手紙の用紙まいを使おうと考えました。そして、下の図のように、1本目と13本目の直線に手紙の両はしをあわせて、3等分する点を見つけました。



- (2) 13本の直線のうち、手紙の長い辺と交わった点が、その辺を3等分する点になるのは、上から何本目と何本目の直線ですか。

答えを書きましょう。